— 購読料未払いは停止します —　　FAX番号の廃止

いつもWatch & Jewelry Today／オンラインをご愛読いただき有難うございます。
夏頃よりメール配信を検討しております。追って購読料未払いの方の郵送は止めさせて頂きます。また、弊社ではFAXを廃止いたしました。ご迷惑をおかけいたしますが、お急ぎの方はメール（hayato@carol.ocn.ne.jp）もしくは携帯電話（080-4446－0460）までご連絡をお願いいたします。

保険のご相談は（株）東時へ　本社：03-5817-0353　西日本支社：06-6252-4477

3T MACHINES
http:www.suzuho.com
SUZUHO
貴金属加工機械の総合商社＆メーカー自社ブランド3T製品製造販売元
株式会社　鈴峯　本社：東京都品川区上大崎3-14-34　TEL.03-6859-0085

●発行所（株）時計美術宝飾新聞社
●編集発行人　藤井正義
〒110-0015 東京都台東区東上野1-26-2
ジュエラーズタウン・オーラム5F
http://www.e-tkb.com
毎月1日・15日発行
年間購読料8500円／1部450円
振替口座00190-3-57579
FROM THE WORLD Quality
THE WATCH & JEWELRY TODAY
ウォッチ&ジュエリー トゥデイ
W&J

甲府ジュエリーの魅力を発信

「宝石のまち甲府」をブランディング

甲府ジュエリー×TGCプロジェクト

東京ガールズコレクション（TGC）を企画・制作する㈱W TOKYO（東京都渋谷区、代表取締役：村上範義、コード番号：9159、東証グロース）は、「宝石のまち甲府」を世界へ発信することを目的に、2022年より甲府市と連携し『甲府ジュエリー×TGCプロジェクト』を展開している。





同プロジェクトは、2022年のTGCを皮切りにスタートし、甲府ジュエリーの魅力を国内外に広めることを目指す取り組みだ。2024年からは、山梨県在住でSNS総フォロワー数580万人超を誇るZ世代のカリスマ・MINAMIをアンバサダーに迎え、「宝石のまち甲府」のブランディングおよび魅力発信を強化している。

その活動の一環として、10月24日に「第36回甲府大好きまつり」内で開催された『宝石のまち甲府 甲府ジュエリー甲子園2026』にMINAMIがスペシャルゲストとして登壇し、甲府ジュエリーの魅力を発信した。

「甲府ジュエリー甲子園2026」は、高校生を対象としたジュエリーデザインコンテスト。若い世代の創造力や才能を育み、次世代のジュエリー業界を担う人材を育成するとともに、「宝石のまち甲府」の魅力を広く発信することを目的に、2024年より開催されている。

Dia Flore
ファンシーカラー　ダイヤモンド
〒104-0045 東京都中央区築地 7 - 5 - 3 紀文第 1 ビル 6 階
Tel 03-5565-3001(代)　http://www.aikei.com/
株式会社 アイ・ケイ

今年のデザインテーマは「甲府をイメージしたペンダントトップデザイン」。昨年からさらにスケールアップし、全国大会として実施され、今年で3回目を迎えた。全国の高校生から423作品のエントリーが寄せられ、その中から選出された5名の高校生が決勝大会でプレゼンテーションを行った。



審査の結果、最優秀賞には山梨県立甲府商業高等学校3年生の伊藤七海さん、優秀賞には福井県立鯖江高等学校2年生の髙橋怜愛さん、山梨県立甲府城西高等学校3年生の小林響貴さん、審査員特別賞には山梨県立甲府東高等学校3年生の齊藤美月さん、大阪成蹊女子高等学校2年生の秦野ももさんが選ばれた。

最優秀賞の伊藤さんは、「たくさんの方々が協力してくださり、応援してくださったので、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。自分が考えたデザインが実際にジュエリーになることがとても嬉しく、今から楽しみにしています」と歓喜の涙を浮かべながら喜びを語った。

審査員を務めた樋口雄一甲府市長は、「どの作品も素晴らしい発想やデザインで、順位をつけるのが難しいほど僅差でした。どの作品が優勝してもおかしくない、素晴らしい作品ばかりでした」とコメントした。

また、スペシャルゲストとして参加した甲府ジュエリーアンバサダーのMINAMIは、「率直な感想として、どの作品も全部欲しいと思うくらい素敵でした。ジュエリーそのものの美しさだけでなく、皆さんがたくさん調べて、考えて、一つの作品に込めた想いや背景がプレゼンを通して伝わってきました。見た瞬間の美しさの裏側にある、こだわりや想いを知ることで、より一層ジュエリーに惹かれるんだと改めて感じました。皆さんの素敵な作品とプレゼンに、とても感動しました」とメッセージを寄せた。

なお、最優秀賞を受賞した伊藤七海さんの作品は、デザイン画をもとに実作品が制作され、伊藤さんへ贈呈されるほか、甲府市のふるさと納税返礼品として商品化される。

土田里彩子選手が銅メダル

第48回技能五輪国際大会で女性選手として37年ぶりの快挙



9月に中国・上海にて開催された「第48回技能五輪国際大会」のジュエリー職種において、日本代表の土田里彩子（つちだ りさこ／所属：㈱ミキモト装身具）選手が銅メダルを獲得した。この競技での日本のメダル獲得は2大会連続、さらにジュエリー職種において女性選手が銅メダル以上となったのは1989年イギリスのバーミンガム大会以来で、実に37年ぶりの快挙を達成した。

今大会は日本を含む65の国と地域が参加し、64職種の競技が行われた。日本からは56の競技に62人の選手が参加した。成績＝金：中国、銀：韓国、銅：日本、敢闘賞：スイス、フランス、ブラジル、インド。

一般社団法人日本ジュエリー協会（JJA）は、日本のものづくりを担う次世代の育成および選手強化に継続して協力しており、今後も選手たちの挑戦を支援していく。主に、中央職業能力開発協会の依頼を受けてクラフトマンや学校、企業関係者からなる分科会を組織し、訓練計画を策定。資材の手配や研修受講など選手の実力を強化するため“TEAM JAPAN”としてサポートを行っている。

2年後の2028年には、第49回技能五輪国際大会が日本・愛知県で開催される。日本開催は1970年（東京）、1985年（大阪）、2007年（静岡）に続き4回目。2年後の開催に向けて、次世代の育成及び選手の実力の向上に期待が掛かっている。

自然の痕跡を、仕上がりに残すという判断
888.88ctの黒いダイヤモンド

888.88カラットの天然ファンシーブラックダイヤモンド「インフィニティ（Infinity）」が、2026年10月26日、ドバイ・ダイヤモンド・カンファレンスで披露された。ベルギー・アントワープのDiamond Trading NVが紹介したこの石は、1,138カラットの原石から仕上げられたものだ。

このダイヤモンドの面白さは重量だけではなく、原石が地球深部から地表へと運ばれる過程で刻まれた特徴を、仕上がりに生かそうとした点だ。天然ダイヤモンドの価値をどう伝えるかが問われるなか、インフィニティは、地質学的な履歴と研磨の判断を一体として見せる存在となった。

また会議では、天然ダイヤモンド産業の価値を再構築するための議論も行われた。













